

【2学期終業式】仲間と共に限界突破！

9月2日の始業式から本日の終業式までの日数を確認したところ、113日でした。皆さんにとっては、どのような2学期だったのでしょうか？

11月に行われた生徒会役員の立会演説会で、今年度の南中スローガンにある「凡事徹底、切磋琢磨、限界突破」という言葉が立候補者からくり返し発せられ、南中の日々の生活に浸透しているんだと感じ、とても嬉しくそして頼もしく思いました。次に目指す姿として、一人一人に考えて欲しいことは、『自分にとっての「凡事徹底」とはどういうことなのか』『自分にとっての「切磋琢磨」とは？』『自分にとっての「限界突破」とは？』と語りかけ、その答えを言語化することで、行動の質を高めていくことです。

また、同じく立会演説会で、1、2年生の生徒たちが、3年生の行動を見て、憧れの先輩たちと捉えていることが言葉として聞かれ、感動しました。尊敬される先輩たち、先輩のいいところに気づける後輩たち、どちらも素晴らしいことと思います。

中学生の皆さんは、それぞれ個人的には、友だち関係のこと、学習のこと、部活動のこと等、上手くいかなかったり、悩んだりすることも多いと思います。それでも、前を向いて目の前の壁を乗り越えようとする力強い姿勢や校風が、今の南中にはあります。そういった向上心をこれからも大切にしたいと思います。

さて、年があげますと、3年生は進路選択へ、1、2年生はそれぞれ進級に向けて動きが加速します。だからこそ、明日から15日間の冬休みの過ごし方はとても大事です。そこで2つお願いをしておきます。

1つ目は、健康、安全に十分気をつけて過ごすことです。この後の生徒指導の先生からの連絡や、学年集会、学活で先生方の話を聞いて、健康・安全第一に過ごしてください。

2つ目は、自らを鍛える冬休みにすることです。しっかりと見通しを持って、自分で目標を決めて、自らを鍛える冬休みにして欲しいと思います。それを実現させるためのキーフレーズを紹介しますので、行動を起こすときの原動力としてください。キーフレーズは「すぐやる、必ずやる、とことんやる」です。

「2、3日ゆっくりしてから」、「クリスマスが終わったら」、「お正月をゆっくり過ごしてから」などの先延ばしワードを、とりかからない理由にしないように、15日間過ごしたのちに、やりきったと思えるように、ぜひ、今の自分を高める前向き行動を増やしてください。もう一度伝えます。「すぐやる、必ずやる、とことんやる」です。ほんの少しでいいので、過去の自分より成長することを意識して、粘り強く進んでいきましょう。

それでは、1月8日3学期始業式に、元気な笑顔のそして、逞しく成長した皆さんに会えることを楽しみにしています。

令和6年12月23日

徳島市南部中学校長 滝川 尚

